上田市教育委員会 8 月定例会会議録

1 日 時

令和元年 8 月 2 0 日 (火) 午後 3 時 0 0 分から午後 3 時 5 0 分まで

2 場 所

上田駅前ビルパレオ 5 階 上田市教育委員会 第一会議室

3 出席者

委 員

教 育 長	峯 村 秀 則
委 員	平 田 利 江 子
委 員	横 関 妙 子
委 員	綿 谷 憲 一

説 明 員

中澤教育次長、池田教育参事、石井教育総務課長、翠川教育施設整備室長、緑川学校教育課長、竜野生涯学習・文化財課長、西嶋人権同和教育政策幹、池田スポーツ推進課長、青木丸子地域教育事務所長、宮崎真田地域教育事務所長、宮越武石地域教育事務所長、水野第一学校給食センター所長、小泉中央公民館長、酒井塩田公民館長、清水上田図書館長

1 あいさつ

夏休みの児童生徒向けに、教育委員会の各所属、各部署でさまざまなイベントや企画を計画実行していただいた。子どもたちはたいへん思い出の残る良い夏休みだったと思う。いよいよ2学期がスタートとなり、学校にとっては1年でいちばん長い学期であり、夏から冬までの5か月にわたる学期となる。いろいろな行事があり、学力をつけていかななくてはいけない大事な学期である。実り多い学期になってほしいと考えている。

2 協議事項

(1)小中学校教科用図書の採択について(学校教育課)

資料1により緑川学校教育課長説明(要旨)

このことについては、5月の教科書採択の流れの日程について説明をさせていただいている。先月の7月23日に上小地区小中学校教科書用図書採択研究協議会が開催され、小中学校教科書用図書の選定を行った結果報告をお配りした。資料1をご覧ください。選定の経過であるが、調査研究委員会を組織し、その委員には上小校長会の推薦により小学校の教頭及び教諭のうちから調査研究委員を3名ないし5名を委嘱し、調査・研究を行った。その結果について、研究協議会において審査した結果、選定内容が適当であると判断した。研究協議会から別紙報告について上田市教育委員会の定例会にお諮りし、採択をいただきたいものである。

資料1-2をご覧ください。研究協議会からは選定の報告と上田市教育委員会での採択の結果について報告を求められている。資料の裏面をお願いしたい。研究協議会で選定された教科書が記載されている。まず、左側が小学校の教科書用図書についてだが、令和2年から新学習指導要領が完全実施されることから、今年採択される教科書は10教科あり、国語は書写、社会は地図帳があることから、資料に記載されている13社が選定されている。続いて、右側の中学校の教科書選定について説明させていただく。中学校の教科書道徳以外の採択は、令和3年度から新学習指導要領が実施されることから、令和2年度の1年間限りの使用となる。平成30年度に検定を受けた教科書がないことから、新たな教科書ということではなく、現在使用している教科書を引続き使用するかどうかということになる。文科科学省からの通知では、4年間の使用実績を踏まえつつ、平成27年度の採択における調査研究の内容等を活用することも考えられるところである。前回の調査研究の検証や、使用実績を踏まえ、協議会において現在使用している選定教科書とした。現在使用している教科書については資料のとおりである。

資料1-3は、それぞれの教科書選定のポイントについて、教科ごとに記載しているのでご覧ください。選定のポイントについてご説明させていただいた。

峯村教育長

ただ今、選定の教科書の内容、教科書の課程、選定の理由等について説明いただいた。後ほど、選定の可否についてご意見をいただくが、ただ今の内容について、ご質問があればお願いしたい。

それでは、教科書採択について委員会等でたいへん慎重に検討してきたが、資料1-2裏面にあるそれぞれの教科、採択された教科書の出版社でよろしいか。

全員了承

峯村教育長

それでは、資料1 - 2裏面の教科書出版社のものを使っていくことをご協議いただいた。

3 報告事項

(1)「文化 de 文化祭」の開催について(生涯学習・文化財課)

資料2により竜野生涯学習・文化財課長説明(要旨)

上田市には、国指定文化財のほか、302件もの文化財がある。これらの貴重な宝をより多くの方に知っていただきたく、文化財の活用モデルとして提案していくことを目的としている。今年度については、資料2記載のとおり、第1回目は9月1日(日)13時30分から大萩康司さんのギターリサイタルを武石の妙見寺鳴龍(本堂)で行い、参加費は無料である。第2回目は9月21日(土)16時からシェイクスピア・アンサンブルによる「マクベス」を別所神社神楽殿で行う予定である。参加費については一般が2,000円、大学生以下は1,000円、小学生以下は無料としている。2枚目のチラシをご覧いただきたい。チラシの裏面に妙見寺鳴龍(本堂)、別所神社の紹介、出演者のプロフィールが掲載されている。妙見寺の鳴龍については、日本の東西南北4カ所にあった鳴龍を「日本四方鳴龍」と称している。別所神社については資料掲載のとおり、本殿が指定文化財である。なお、去年は2回行いそれぞれ100人の方にお集まりいただいている。お時間のある方はぜひご参加いただきたい。

峯村教育長

「文化 de 文化祭」の開催について、ご質問がある方お願いしたい。

横関委員

去年も参加させていただき、とても良い取組みだと思っている。今回は9月に2回開催されるが、今後、参加人数や開催数を増やすことは考えているか。

竜野生涯学習・文化財課長

実行委員会の中で検討いただいている。今回は1回目が無料、2回目は参加費をいただく形。好評であり、予算の中でいろいろな経費が工面できるようであれば実施していきたいと思うが、限られた予算の中で回数を増やすことは難しいかもしれない。希望があることはお伝えしたいと思っている。

綿谷委員

参加費があるときとないとき、また、参加する人数はどうなのか。

竜野生涯学習・文化財課長

参加費をいただくということは、運営費のこともあるが会場のキャパの関係もある。平成29年に旧宣教師館で音楽交響楽団の方にきていただいたときは参加費をいただき、50人の方に参加いただいた。無料の開催では100人だとか、いちばん多いところで笠原工業の常田館で行ったジャズコンサートが250人といちばん多かった。

峯村教育長

ほかにはいかがか。

よろしいか。

全員了承

(2) 「第14回人権を考える市民のつどい」開催について(生涯学習・文化財課)

資料3により西嶋人権同和教育政策幹説明(要旨)

今年で第14回を迎える「人権を考える市民のつどい」について、日時は10月4日(金)13時30分から、会場はサントミュージゼ・大ホールで開催することになっている。今年は、経済評論家の勝間和代さんをお迎えし、「自分らしく生きる方法を一緒に考えよう」を演題にご講演をいただく予定である。そのほか、市民団体のアピール等、小・中学生の人権啓発ポスター等の展示を計画している。ぜひ多くの方にご参加いただきたいと思う。

峯村教育長

「人権を考える市民のつどい」について、ご質問等ある方はお願いしたい。
よろしいか。

全員了承

(3) 5大リレー講座について(生涯学習・文化財課)

資料4により竜野生涯学習・文化財課長説明(要旨)

市内には5つの大学があり、それぞれ特徴、魅力ある学ぶ場を提供していただいている。大学の最先端の学びを地域の皆さんと共有していきたい、平成21年度から開催し、今年で11年目の講座となる。一昨年から、筑波大学の山岳科学センターさんにおいてもご参加いただき、5大学リレーということで取組んでいる。なお、4講座以上出席いただいた方(テレビ受講者も含む)には修了証を発行するなど、新たな生涯学習環境の拡充を図ることを行っている。内容については資料4のとおりである。9月21(土)から11月23日(土)まで長野大学をはじめ、ほか4大学の講座を開催していく予定である。なお、この日程、内容、講師についてはそれぞれの大学にすべてお任せし、魅力ある講座づくりを取組んでいただいている。2枚目のチラシをご覧ください。今回、国連サミットで採択されたSDGsの取組を取入れて、それぞれの講座がどういったところの地球環境の取組につながっていくのかということ意識しながら付加えさせていただいている。なお、昨年は全体で200名の方、そして修了証については15名の方がすべてを終了されている。また、修業については、足の不自由な方、あるいは、大学へ行かれない方のために上田ケーブルビジョンさん等の協力を得て、その放送を聞いて受講し、一定のレポートを提出していただき、修了証を発行させていただく。

峯村教育長

ご質問があればお願いしたい。
よろしいか。

全員了承

(4) 第82回国民体育大会会場選定について(スポーツ推進課)

資料5により池田スポーツ推進課長説明(要旨)

1 概要

資料5をご覧ください。ご案内のとおり、上田市は既に第1次選定において、ソフトテニス競技、ラグビーフットボール競技の開催が内定している。残る未定の競技については

第2次選定が行われ、上田市において軟式野球（成年男子）及びハンドボール競技の予選を上田市で開催をするということで、決定内定をしたところである。

2 開催競技概要

ソフトテニス、ラグビーフットボールについては、全種目それぞれ青年男女、少年男女を会場にし、テニスについては新設のテニスコート、ラグビーフットボールについてはサニアパーク菅平を会場にしている。第2次選定となった軟式野球については県営上田野球場、ハンドボールについては、自然運動公園総合体育館ということである。この両競技については予選場の開催となる。本会場については、軟式野球は松本市、ハンドボールについては千曲市が本会場となる。それぞれ野球、ハンドボールとともに会場が複数回でないとなれば本競技の日程が照会できないことから複数会場ということの上田市にも協力依頼があり、お受けしたということである。

3 内定市町村

内定市町村は、長野市、松本市、上田市、岡谷市、飯田市、諏訪市、小諸市、伊那市、中野市、大町市、茅野市、塩尻市、佐久市、千曲市、東御市、安曇野市、下諏訪町、富士見町、高森町、木曾町である。資料5裏面以降は、競技会場の市町村名と競技・種目名等が記載されている。いちばん最後のページについては、第1次選定で決まっている市町村名、競技・種目名等が記載されているのでご覧いただきたい。

峯村教育長

まだ決まっていない種目はあるのか。

池田スポーツ推進課長

そもそもの話で競技自体が正式決定になっていない。例えば、ボクシングなどは隔年で開催しているところで、通常、隔年でいくと82回でボクシング競技がある見込みだが、まだ正式決定になっていないので31競技と申し上げたが、来年度に確定になることである。

峯村教育長

これ以上の受入れは困難な団体はあるのか。

池田スポーツ推進課長

馬術競技の受入れを上田市の方で考えていただけないかという申し入れがあった。当初、昨年の選定のときに馬術連盟からは第1位を長野市、第2位が上田市、第3位は松本市だったと思う。長野市の方では受入れが困難だという話を馬術連盟の方にされたところ、第2位の上田市でお願いできないかというお話があった。場所については、連盟の方が市民の森公園で開催したい要望があった。ただし、馬術については馬を置く所を220頭分設けなければいけないことや、競技場についても50m、70mという形で市民の森のグラウンドはあるが、グラウンド全部を使う形、また、仮設の観覧のスタンドを設けなければいけないことで、仮設の費用だけでも7億円程度が見込まれ、競技は4、5日間になってしまう。そのようなことから、上田市としては馬術の受入れは難しくお断りさせていただいた経緯である。また、あわせて国体の会場地になると、職員やボランティアの皆さんにお願いをするわけだが、職員が総出で道案内、駐車場の整備、また、各会場地でのおもてなしを含めて相当数出なければいけない。4競技以上は困難というところである。

平田委員

軟式野球、ハンドボールについては現状の会場で使用可能か。

池田スポーツ推進課長

県営球場については中が雨漏りでひどい状況にはなっているが、競技について問題はない。県の管轄なので、どのような判断をされるのかということになる。若干、化粧直し程度はされるのではないかと思う。また、自然運動公園の体育館については、今年度に耐震改修、大規模改修に向けて実施設計が行われている。予算は来年の話だが、予定とすると大規模改修を予定しているので、それに対応していくことになろうかと思う。競技場の規模は、競技を開催できるような状況になっている。

峯村教育長

国からの補助が出ない。全部上田市の持ち出しになってしまう。できるだけお金をかけないでやっていきたい。

ほかにいかがか。

全員了承

(5) 「地域の支え合いの仕組み」を考える講座の開催報告(塩田公民館)

資料6により酒井塩田公民館長説明(要旨)

今回、新規事業ということで報告させていただく。事業の趣旨は、地域内の「支え合い」の仕組みを作るきっかけとするため、現状や先進事例などについて学び、考える講座を7月11日(木)塩田公民館で行った。後援団体として、塩田地域包括ケアシステム検討会にも後援をいただいている。資料の裏面のチラシをご覧いただきたい。中ほどにアンダーラインを引いた箇所がある。「買い物、ごみ出し、草取りや雪かきなどお困りの方が徐々に増えている。一方で、サポートが可能であると思う元気な高齢者も多くおり、」とこの背景となるデータが市の調査であり、その両者をマッチングする仕組みが求められている。「持続可能な地域づくりを可能とするために住民自らが担い手となり、その運営に関わっていくことが重要である。」今回、どうかこのきっかけをつくりたいということで講座を開設した。内容的については、資料の四角に囲った中に記載のある「ナルク上田・千曲拠点」という真田地域を中心にボランティアを行っている団体がある。ここでは車による送迎、庭仕事、介護等を会員間で組織する。

で、この団体の先進事例の活動講演をしたあと、としてグループ別の討議を行った。資料に戻っていただき、5の内容で、3つめのグループワークの中に記載のある 移動支援 家事のサポート、この2つが大きな地域課題であり、どちらかのテーマについてグループごとにアイデアをまとめて発表していただいた。主に塩田地域の方を中心に68人(講師3人、事務局2人含む)の多くの方にご参加いただいた。出席者アンケート結果の主な感想は、建設的意見として、時間の関係で全グループの発表はできなかったが、具体的な対策などまとめてもらいたい。自治会ぐるみで、班ぐるみで話し合う時期にきている。など切実なご意見をいただいた。今後、アンケートの結果を生かして塩田地域包括支援センター、地区社協、塩田まちづくり協議会ほか関係機関と連携しながら、必要と思われる講座を検討して行きたいと思っている。

峯村教育長

ただ今の報告について、ご質問等ある方はお出しいただきたい。

横関委員

市調査のデータがあるということだが、ホームページ等に掲載されているのか。

酒井塩田公民館長

ホームページにはないかもしれない。平成28年12月に上田市の高齢者福祉総合計画をつくるために行った調査である。塩田の部分だけ抜粋したデータを、今回の事業で活用させていただいた。

横関委員

そのデータは福祉課へ行けば分かるのか。

酒井塩田公民館長

高齢者介護課にある。

横関委員

公民館での講座開催はとても良い取組みだと思う。公民館があり、自治会やまちづくり協議会もありと、いろいろな組織があるが、今回公民館が主となって行ったことが。

酒井塩田公民館長

まちづくり協議会でも市と協働して、こういう講座などを行うことを計画に入れている。ただ、住民の皆さんなので、自分たちで計画し積み上げて行うことは難しいことだと思う。私も地域包括支援センターが情報交換をしていたので行わせていただいた。

横関委員

なかなか市の中でも公民館がやるのか、まちづくり協議会がやるのか、それとも自治会連合会がやるのか、それぞれの公民館でも地域でも違っている。その力が分散してしまうことがある。各地域のカラーもあると思うが、公民館がこのように行っていただくことはありがたいと思う。また、アンケート結果の中で、「草取りぐらいはできる。無償でない方が続くと思う。」とあるが、無償で行っていることなのか。

酒井塩田公民館長

アンケートに書かれた人の意図ははっきりとわからないが、有償もある。もしかしたら無償で、地区で助け合いの仕組みがあるところもあるかもしれない。おそらく、新しい仕組みをつくるとすれば無償ではなくて有償の方が続くのではないかと考えたのではないかとと思う。

平田委員

あらたな試みということで、問題提起するという意味でも大事な講座だと思う。ほかの公民館にも広がって欲しい。

峯村教育長

ほかの公民館もぜひ取組んでいただきたいと思う。ほかにはよろしいか。それでは報告事項6番から12番について説明はないが、ご質問、ご意見があればお願いしたい。

(6) 夏休み子ども向け事業について(生涯学習・文化財課)【説明なし】

資料7

(7) 寄付の状況(学校教育課)【説明なし】

資料8

(8) 行事開催等申請状況について(学校教育課 生涯学習・文化財課)【説明なし】

資料9

(9) スポーツ関係市長表敬訪問状況について(スポーツ推進課)【説明なし】

資料10

(10) 第57回信州上田丸子夏期大学の開催について(丸子地域教育事務所)【説明なし】

資料11

(11) 武石ともしび博物館開館30周年記念事業【説明なし】

「わたしと 紬と あかり UEDA SILK 展」開催について(武石地域教育事務所)【説明なし】

資料12

(12) 公民館だより(各公民館)【説明なし】

資料13

平田委員

資料7の(6)夏休み子ども向け事業について、夏休みが長くなっている中、子どもの居場所づくりがこれまで以上に求められている。様々な事業を開催していただき大変有難い。今年度新たに始められた行事はどのくらいの割合なのか、分かる範囲で教えていただきたい。

竜野生涯学習・文化財課長

今回、生涯学習・文化財課として公民館、博物館、図書館等で夏休み中に子どもの居場所づくりを行っている事業をまとめさせていただいた。基本的には毎年やりたい講座等を行っている。新しい試みや、今まで行っているが今年は見直しをさせていただいた事業があるので、その点はお調べしてお伝えしたいと思う。

平田委員

夏休み中、このような事業を通じて、子ども達が学ぶことは多い。関わっていただいている方々に毎回ご苦勞をいただき開催されていると思うが、公民館はつなげる役目として、一つひとつの事業を継続していただきたい。子ども達が主体的な学びを深めることが出来る、いろいろな試みがあればと思う。

竜野生涯学習・文化財課長

公民館の講座を行っていることで報告するだけではなく、事業の内容を夏休み前に発表できる形を公民館、図書館、博物館とともに協議していきたいと思う。

平田委員

夏休み前に内容が分かるとありがたい。より多くの子ども達や保護者に事業を知ってもらえるようお願いしたい。

横関委員

8月4日(日)、西部地域住民自治組織主催、西部公民館共催で夏休みコミュニティスクールを初めて行った。夏休みの学習や遊びということで午前中に学習を集中して行い、夏休み帳や自分の課題をたくさん進めることができた。現役の中学の先生、退職された高校の先生にも来ていただき、子どもたちには好評でもっと勉強をしたかったという声も聞かれた。昼食は地域の方々を用意して下さったカレーライスを皆で食べた。午後はレクリエーションを行ったがボランティアの方々がついていても子どもがいつの間にか外へ出て行ってしまうということがあった。子どもの安全を守るために、こちらが頑張っているにもかかわらず子どもに怪我をさせてしまうようなこともあるかもしれない。ボランティア保険・イベント保険等に入っているにしても、安全ということがボランティアを行う上では大切なことである。今回のことを振り返って見直す点も多々あると思う。だが、子どもたちのアンケート結果は「こんなに楽しい一日はなかった」「色々な人と関わってよかった」などとかなりの高評価であった。初めての取り組みで不安の中での開催だったが子どもたちのたくさんの笑顔を見る事ができ良かった。取り組んでよかったと思う。是非、各公民館、地域でこのような取り組みをしていただければと思う。また、保護者の皆さんにもこのような取り組みを知っていただくことは大切だと思う。公民館を地域拠点とし、子どもたちを盛り立てただけならと思う。

小泉中央公民館長

公民館によって取組内容が違うが、公民館、図書館等も含めて大きなことをやるのではなくて地道な活動が大切だと認識している。来年は少し夏休みが長くなると聞いているので、公民館等の取組みを進めてまいりたいと思う。

竜野生涯学習・文化財課長

先ほどのボランティア保険とは別に公民館保険も入っている。公民館が主催に入っていると公民館保険も使える。また、主体が地域の方であったとしても公民館を加えていたら公民館保険が使えるメリットがある。

横関委員

共催にする形でよいか。

竜野生涯学習・文化財課長

共催にさせていただくと保険が使える。

横関委員

ぜひ、保険に加えていただいた方がよい。住民自治組織としてもありがたいと思う。使えるので共に活動していけたらと思う。

峯村教育長

上田市内の小中学校の夏休み日数だが、真田中がいちばん短くて25日間、ほかの小中学校は、27日から31日間である。31日間を実施している学校は、年々夏休みが長くなって

いると感じている。今、発表があった公民館や各所属で実施していただいているイベントはありがたいと思っている。ぜひ充実した計画をお願いしたい。

全員了承

資料13

4 その他

峯村教育長

それでは4その他に入る。毎月交代で出席している所属から、当番の所属長が自身の所属する事業や計画等の紹介、又は課題等について紹介させていただく。今回は上田図書館から図書館の業務について報告させていただく。

(1) 上田図書館の業務について(上田図書館)

資料14により清水上田図書館長説明(要旨)

資料14をご覧いただきたい。今回は、市民協働の観点から開催している上田・丸子・真田・県の図書館の状況をご説明させていただきたい。

- 1 上田図書館は、令和元年度 貴重資料紹介展「浄瑠璃 ～江戸のオペレッタ～」を題して10月8日(火)～10月20日(日)まで上田図書館2階小会議室で開催する。それに併せて、「江戸時代の村芝居をめぐる」の講演会を行う予定である。内容については、貴重資料紹介展は2年に1度、「古文書学習会 山なみ」との共催で開催しており、平成9年度から計11回開催し、第3回から展示に合せて図録を刊行している。本年は上田図書館所蔵の未整理資料の中から「浄瑠璃」に関する資料を取り上げ、江戸の文化について紹介したいと考えている。上田社会教育大学40周年記念連続講座を開催する。この内容は、大学で学んだ受講生を講師として、日頃の研究を公開で発表する。本学は、その母体である上小PTA母親文庫以来、市立上田図書館を学習及び活動の場としてきたので、共催として開催するものである。令和元年11月23日(土)から令和2年7月25日(土)まで9回にわたって開催する予定である。
- 2 丸子図書館は、連携地域講座ということで「地域の過去を知り、未来を振り返る」と題して9月28日(土)に開催をする。主催はNPO長野県図書館等協働機構・長野県図書館協会との共催となっている。内容については、第1講座で地元の阿部勇先生の「戊辰戦争に従事した上田地域の農民」、第2講座では寺島隆史先生の「三才山峠越え内村経由の松本城輸送をめぐる」2つの講座を開催する予定である。
- 3 真田図書館は、毎年、真田町サポーターの会と共催して8月24日(土)真田塾第1回を開催する。題名は「太陽系の起源を探る旅」(はやぶさ)から(はやぶさ2)へ、講師は大西浩次先生(現 長野工業高等専門学校教授)、内容は、小惑星「イトカワ」の鼓隊表面に着陸、世界で初めて地球重力圏外天体からサンプルの持ち帰りに成功し、2010年6月13日に地球に帰還した、小惑星探査機は「はやぶさ」や、今回、7月11日に地球近傍小惑星「リュウグウ」へ第2回タッチダウンを成功させた「はやぶさ2」が持ち帰るサンプルの意味などについてお話をいただく予定になっている。ぜひ、ご興味のある方は真田図書館の方へお申込みいただきたい。
- 4 平成30年図書館重点目標(図書館サービスの充実)について、上田図書館は今年の3月にご説明の機会をいただいたが、議題が多く説明不足であった。その時点では、平成30年度の実績状況等を説明する予定だったので、図書館重点目標の中の書籍や基本方の関係につ

いて申し上げたい。平成30年度の重点目標については、「図書館の充実サービス」ということで、(1)図書館の機能強化(2)職員の資質向上(3)貴重資料の整理の3つを取組んでいる。その中で(1)図書案の機能強化については、社会動向を常に把握し、幅広く書籍、資料、情報の収集と保存及び適正な資料校正を図る観点から、内規により運用していた資料収集基本方針及び除籍基準を教育委員会として成文化して、本年度からホームページ等に掲載して市民に公表した。参考として、除籍や受入れ冊数については、上田市の教育には載せてはいない。基本的の29年度の実績となるが、4館の年間受入れ冊数は20,462冊、うち購入冊数が16,297冊、この差額については市民からの寄贈本である。年間除籍冊数については、3,994冊のうち上田図書館は非常に除籍冊数が多く、ご存じのように老朽化の関係で受け入れもしているが、蔵書するスペースがないため除籍する冊数も多い理由である。資料に基本方針や除籍基準の記載があるのでご覧いただきたい。

峯村教育長

ただいまの報告について、ご質問等があればお出しいただきたい。
よろしいか。
それでは以上で定例会を終了する。

全員了承

閉 会

教育委員会会議規則第 2 1 条の規定により署名する。